

(集計表)事業所における自己評価結果

公表:2024(令和6)年3月26日

事業所名 社会福祉法人 雲柱社 賀川学園

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	64.7%	35.3%	<p>仮園舎ではあるが、部屋のつくりも見えにくい部分があり、人数に対して狭い。</p> <p>引越し中の仮園舎だけれど、クラスによってスペースが狭いと思う。死角もあるので、安全面に特に配慮する必要がある。</p> <p>仮園舎のため物の配置等工夫している。</p> <p>仮園舎へ移行後、うさこクラスの人数と保育室スペースでは狭い。</p> <p>現在は仮園舎ということもあって、少し狭いと思う。</p> <p>仮園舎で必要なものを都度出し入れしながらスペースを確保している。</p> <p>仮園舎のため、子どもたちの活動が確保できるよう部屋には必要な物のみになっている。</p> <p>仮園舎が狭い。</p> <p>狭いクラスがある。</p>	<p>現在も仮園舎でのスペースを職員で工夫しながら日々取り組んでいる。子どもたちの安心・安全を確保しながら、プログラムを進めていけるよう園全体で意見を出し合い、環境の整備に努める。</p>
	②	職員の配置数は適切であるか	100.0%	0.0%	<p>適切だと思うが、フリーの職員がいるといいと思う。</p> <p>今年度のようにフリーで入れる職員がいてくれると安全管理がしっかりとできると感じた。</p>	
	③	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	82.4%	17.6%	<p>現在仮園舎のためパイアフリー化などの配慮はむずかしい点もある</p> <p>プログラム表やお勉強ボード等視覚的なものを多く取り入れている。</p> <p>現在の仮設の園舎で可能な限り、工夫はしているが十分であるとは言い難い。</p> <p>バリアフリーではない。</p> <p>わかりやすくなるようにしている。</p> <p>仮園舎のため難しい部分もあるが、できるだけわかりやすい環境になるよう手作りで対応して工夫している。</p> <p>エレベーターがない。</p>	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	88.2%	11.8%	<p>仮園舎に入ってから建物も新しくないが、清潔に見えるように心がけた。</p> <p>週に一度は必ず普段よりも念入りに掃除している。</p> <p>仮設の園舎であるため、</p>	

					築年数は経過しているが、清掃はこまめに丁寧に行えている。 仮園舎のため不便はある。 より清潔であるよう、危険がないよう心がけている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100.0%	0.0%	行事のアンケート等意向を把握する機会を設定している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	94.1%	5.9%	結果は学園の月一のおたよりにて記載し、お配りしている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100.0%	0.0%	評価結果の内容を確認し、話し合う。 第三者評価の結果を少しの時間でもいいから話し合えると良い。	今年度は結果が出るのが年度末ギリギリになってしまい、確認と話し合いに十分な時間が取れなかった。もう少し余裕のスケジュールで行えるようにする。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0%	0.0%	昨年度よりは研修に出やすくなった。 年数に応じた研修に加え、自分が学びたいと思う研修に参加することができる。 フィードバックの機会を持っている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100.0%	0.0%	子どもの日々の様子や保護者との話からアセスメントし、クラス職員で話し合った上で計画を立てている。 クラス単位・主任による客観的分析が行われている。 クラス会議で共有化し、ケース会議を行った上で、計画を作成している。 さらに児発管が最終的に確認。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	94.1%	5.9%	Vineland などは用いないが、子どもの気になる様子があれば感覚プロフィールでチェックをつけ、OT の先生に評価をいただいている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	94.1%	5.9%	児童発達支援計画では家族支援・地域支援について考慮しないようになってはいるが、設定記載はしていない。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100.0%	0.0%	支援について話し合う。 モニタリングを設けている。 モニタリング。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0%	0.0%	短い話し合いの時間で決められるよう業務分担しながら仮立案を立て、チーム間で話し合えるようにしている。 週2回のクラス会議で話し合っている 活動内容毎にクラスで担当を決め、クラス会議で検討し、立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100.0%	0.0%	定期的に見直している 子どもの様子に応じて設定している。 一般的な幼児保育にも積極的に目が向けられていると思う。 子どものわかりやすさから固定化もある。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100.0%	0.0%	常にその意識が皆にある。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	非常勤さん・実習生の役割が明確にならず、その場での指示になることがある。 毎朝、クラス職員でその日の活動、配慮すべきことを確認している。 支援の仕方のポイントについて話し合い確認する。 もう少し意識的になされてもよいかもしれない(パート職員) 朝の準備の際に打合せ(確認)するようにしている。	非常勤職員・実習生を含めてチームで支援にあたるような意識を持つ。また、朝の時間や準備の合間を活用し、打ち合わせの時間を保てるように努めていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100.0%	0.0%	職員間では行えている。 非常勤さんとの振り返りはできていない時とそうではないことがある。 疑問点・反省点・良かった点など話し合っている。 臨機応変に時間をとって行えるといい(勤務時間のちがいがあるので) クラス会議だけでなく、場を設けず職員室などで共有するようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0%	0.0%		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	94.1%	5.9%	年2回の振り返りは行っている。3か月ごとのモニタリングは必要かどうか検討の余地あり。 今年度よりモニタリングという形では行っていない。	6か月に一回の振り返り(前後期のケース・まとめ)が6か月ごとのモニタリングにあたることを再度職員で確認する。
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100.0%	0.0%		

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	88.2%	11.8%	保護者を通しての連携の形が多い。 幼稚園・保育園との連携の形が広がられると良いと感じる。 必要に応じて、子ども家庭支援センター等。 必要に応じて。 保護者発信で話題にあがる。こちらからの積極的な関わりしたい。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100.0%	0.0%	引継ぎだけでなく、就学後も見学に行き様子を共有している。 情報の取り扱いに注意しながら必要なことがより正確に伝わるように工夫されている(電話・訪問・文書など)	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100.0%	0.0%	必要に応じて保護者の了解のもと文書や電話・訪問などで共有している。 卒園生の様子など見に行っている。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	94.1%	5.9%	同じ法人内にて法人内で行っている。	
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	47.1%	52.9%	隣の保育園と交流できる機会・方法を模索中。 行事の中で設定してはいるがかなり限定的。 保育園が隣接しているが実際に関わる機会は今のところなし。 残念ながら現在はない。 遊びを共有することにこだわらず、同じ場にいるという行事的なものを共にしたり、何かを渡しにいたりなど… より計画的に行っていけると良い。	年単位で計画しながら、どういう形で取り組んでいけるのかを近隣の保育園の先生たちと考えていけるとよい。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	64.7%	35.3%	園長は参加しているが、現場の職員が参加する機会はなし。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	日々、登降園時にその様子を伝えあったり、困り事はないかなど話し合う(子だけでなく、保護者の方も) 登降園時のお話(特に週1回の午後の個別学習	

					時)	
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	70.6%	29.4%	家庭にあったアドバイスは個別に行っている。支援プログラムとして行っているかどうか、微妙ではある。 日々の支援の中で家族支援にも力をいれているが、プログラムとしては行っていない。 ペアレントトレーニングまではいかないが、対応など支援はしている。 日々の様子を共有したり、参観や行事などで実際に子どもの取り組みを見る画を設けたりしながら子どもの理解を促している。 対応の仕方のポイントを伝える。	
保護者への説明責任等	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%	0.0%		
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100.0%	0.0%	支援計画の説明をし、質問・疑問がないか確認している。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0%	0.0%	クラス職員で共有し、支援内容を相談して伝えている。 日頃から変わった所はないか様子に気を配り、気になる事があれば話を聞く(引き出せるように) 面談ではその部分も引き出し、次の日からの支援につなげていけるようにしている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	76.5%	23.5%	保護者会の場合は確保している。連携の支援としての機能は果たせていない。 半年に一度は保護者会を開いている。 保護者会の機会は設けている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合、迅速かつ適切に対応しているか	100.0%	0.0%		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発言しているか	100.0%	0.0%		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100.0%	0.0%	制作物等の名前も細かく切って残らないようにしている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待す	52.9%	47.1%	現在行えていない。今後	

		る等地域に開かれた事業運営を図っているか			行えるといふ。 コロナ禍だった事もありしていない(以前はバザーなど行っていた)。 ここ数年はできていない。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100.0%	0.0%	月に一度避難訓練を行っている。また、半年に一度災害伝言ダイヤルを行っている。 防犯マニュアルが欠けている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	0.0%	仮園舎にて想定されることへの訓練がされている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100.0%	0.0%	すべての職員に周知。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100.0%	0.0%	食事・おやつを提供する時、確認をするアレルギーカードを作り活用している。 保護者からの聞き取り後、書類を提出してもらい、ナースと一緒に確認。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	94.1%	5.9%	もう少しヒヤリハットが各職員から発信があるとよい。またその上で活用できるようにしていく必要がある。 ヒヤリハットがあった場合は記録に残している。 報告会であげることにより、再発を防止。 日々の報告会で共有。	ヒヤリハットの意味合いを今一度職員の中で確認し合い、クラス内・報告会等で挙げていくようにする。その中で対応の仕方も皆で確認していくことにより、再発防止に努めていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	研修の振り返りの方法について工夫していると感じる。 自分の支援をクラス職員に客観視してもらい伝え合うとりくみがあり、とてもよかった。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100.0%	0.0%	現在、支援計画に記載している事例はなし。今後必要があれば行えるよう職員同士で確認はしていけるとよい。 月に一度虐待防止会議を行い、振り返る機会を設けている。 行った事例はないが、行う際の流れについては確認している。 それにつながる可能性のある事象など話題にあげて共有がされている。		